

# 「石川県並行在来線経営計画（金沢以西延伸）（案）」に関する

## ご意見募集の結果について

- 1 募集期間 : 令和4年10月3日（月）～11月2日（水）
- 2 寄せられた意見 : 22件

番号	意見内容(概要)	意見に対する考え方
○ 利用促進に関するもの		
＜二次交通としての利用促進＞		
1	他の鉄道事業者との連携も、利用客の利便性を高め乗客を増やすために重要。	北陸3県の並行在来線の連携やMaaSの積極的な活用などを、新たに経営計画に盛り込み、他の交通事業者との連携による利用促進の取り組みを進めてまいります。
2	観光列車を検討する場合は、イカキングのように全国で話題となるくらい特別なものとしてほしい。	北陸3県の並行在来線の連携した取り組みとして、富山県の観光列車の北陸3県を跨いだ運行やイベント列車の共同運行などの検討を進めているところであり、いただいたご意見も参考に、企画を進めてまいります。
＜利便性の向上＞		
3	駅舎前にスロープを整備するなど、バリアフリー化の推進と、適切な情報提供を追加してほしい。	駅のバリアフリー化に関する事項について、経営計画に明記し、国の整備方針や駅の利用状況等を踏まえながら、駅のバリアフリー化に努めるとともに、ホームページなどを利用環境の適切な情報提供を行ってまいります。
4	乗客がボタンでドアを開閉する仕組みについては、分かりやすい掲示をお願いしたい。	ドア開閉ボタンについては、現在も車内での操作方法の掲示や駅到着時の音声での案内を行っていますが、いただいたご意見も参考に、今後も分かりやすい周知に努めてまいります。
5	「まちのり」（シェアサイクル）の台数や貸出ポートを充実させ、鉄道利用者の増加を図ってほしい。	沿線のシェアサイクルとの連携について、新たに経営計画に盛り込み、シェアサイクルの利用者に対し、鉄道利用の促進を図ってまいります。
＜マイレール意識の醸成＞		
6	沿線の学校や公民館、自治会の行事等での鉄道利用を促進し、地域ぐるみで利用して支える意識を高めてほしい。	個人だけでなく、企業や団体等も含めて地域でIRいしかわ鉄道を支える新たなサポーター制度の導入や、マスコットキャラクターの制作、利用者・沿線住民の参加機会の提供などを新たに経営計画に盛り込み、マイレール意識の醸成に取り組んでまいります。
7	県民に親しまれる鉄道とするため、富山県や新潟県の会社と同様にマスコットキャラクターを作成してほしい。	
8	IRへの経営主体の変更をきっかけに、より地域に根ざした利用促進に取り組み、経営の安定化と地域の活性化の両立を図ってほしい。	

番号	意見内容(概要)	意見に対する考え方
<b>&lt;駅を中心としたまちづくり&gt;</b>		
9	パークアンドライド駐車場は非常に便利であり、金沢以西の駅でも整備を進めると良い。	経営計画では、パークアンドライドの推進について盛り込んでおり、沿線市町と連携し、パークアンドライドの取り組みを促進するとともに、駅周辺の駐車場整備に努めてまいります。
10	駅・駅周辺のにぎわいづくりの空きスペースの活用事例に工房や、商店、NPO、福祉サロン、診療所の誘致も追加すべき。	経営計画では、沿線市町による駅舎の空きスペースの活用や駅周辺の土地の活用について盛り込んでおり、いただいたご意見も参考に、沿線市町とも相談しながら、駅・駅周辺のにぎわいづくりに積極的に協力してまいります。
11	公共施設の移転・新設の際には、駅構内や駅の徒歩圏内への立地を積極的に検討する旨を追記すべき。	
<b>○ダイヤなど運行計画に関するもの</b>		
12	列車の運行本数は金沢以東区間と比べて金沢以西区間が少ないが、西松任駅の開業や以西区間での宅地開発の状況を踏まえ、沿線住民の利用を増やすため、運行本数を増やしてはどうか。	金沢以東区間は、富山方面と七尾方面の列車が重複するため運行本数が多く、金沢以西区間でも他県の並行在来線に比べて、運行本数は多い現状にあります。 また、JR七尾線やあいの風とやま鉄道線との相互乗り入れを継続するとともに、ハピラインふくい線とも相互乗り入れを予定しています。 経営計画では、朝夕の通勤・通学者への配慮や、新幹線等との乗り継ぎの利便性の確保、特急の退避が不要となることを活かした到達時間の短縮などを盛り込んでおり、今後、いただいた意見も参考に、JRや隣県の並行在来線会社とも協議し、ダイヤ編成について検討してまいります。
13	最低30分毎の運行や発車間隔を統一してほしい。また、混雑緩和のため、4両編成を基本とするか運行本数を増やしてほしい。	
14	新幹線は料金も高く、停車駅も限られ、日常利用としては使い勝手が悪いいため、1市町に1駅停車する快速列車を走らせてはどうか。	
15	これまでの特急利用者の利便性確保のため、通勤・通学時間帯に快速列車を運行してほしい。	
16	新幹線からの乗り継ぎで目的地までの到着時間が遅くならないよう、IRに短時間で乗り継ぎ可能なダイヤ設定を望む。	
<b>○その他</b>		
17	予防保全に基づくインフラ長寿命化計画の導入による維持管理費用の縮減も、安全で持続可能な鉄道運営に欠かせないため、明記すべき。	金沢以東区間で既にインフラ長寿命化計画を策定し、予防保全型の維持管理に取り組んでいます。新たに経営計画に明記し、金沢以西区間も含めて、引き続き取り組んでまいります。
18	電気料金が値上げされるが、計画では物価の高騰を見込んでいるのか。	維持管理経費の物価上昇については、国の鉄道事業許可の審査基準に従い、過去10年間の平均値を見込んでおります。
19	駅の無人化で、JRの指定券を購入できなくなるため、無人化駅にJRの自動券売機を設置できないか。	JR西日本からは、自社以外の駅には指定券自動券売機は設置しないと聞いています。JR西日本に対し、インターネットで新幹線のきっぷ等を購入し、登録したICカードでそのまま乗車できる仕組みの周知等を求めています。

番号	意見内容(概要)	意見に対する考え方
20	新幹線敦賀開業後も、サンダーバードを金沢駅まで延長運転し、松任駅にも停車してはどうか。	関西・中京方面からの在来線特急については、敦賀駅止まりとなるため、JR西日本に対し、敦賀駅での乗換利便性の確保を求めるとともに、IRいしかわ鉄道においても、県内駅での新幹線と在来線の乗り継ぎ利便性に配慮します。
21	旅客運賃だけでなく、払戻手数料等も経費に見合った水準に設定し、収入増を図るべき。	手数料等については、JRを含む他社の水準なども参考に、適正な水準の設定に努めてまいります。
22	福井県の並行在来線経営計画を参考に、取り入れるべき点は積極的に取り入れることを望む。	計画案の作成にあたり、他社の計画も参考としており、今後の運営にあたっては、随時、他社の取り組みを収集し、参考としてまいります。